

Genotyping and Quantitation of Noroviruses in Oysters from Two Distinct Sea Areas in Japan

Tomoko NISHIDA, Osamu NISHIO, Masahiko KATO, Takehisa CHUMA, Hiroto KATO, Hiroyuki IWATA
and Hirokazu KIMURA

Microbiol. Immunol., 51(2), 177~184(2007)

ノロウイルス（NV）はヒトに急性胃腸炎を引き起こす原因である，そして，カキを含む二枚貝はウイルスの主な媒介物の役目を務めている．我々はNVの遺伝子学的特徴を調査するために，2002年10月から2005年3月にかけて二つの異なった海域である三陸と瀬戸内で生産された生食用カキ1,512パックを用いた．

カプシド領域の遺伝子を決定し，遺伝子学的な検索を行った．また，リアルタイムPCRを用いてコピー数を測定した．結果，約5%のカキから遺伝子が検出され，幅広い相

違を示した．三陸産カキからは検出されなかったのに対し，瀬戸内産カキの2%から100コピー以上の比較的多くのNV量が検出された．カプシド領域を比較した時，カキとヒトから検出されたNVは関連があった．これらの結果から，ヒトから検出されたNVとカキから検出されたものはお互いに関連がある可能性を示し，そして，日本のカキのある集団は他と比べて多くのNVを蓄積することが分かった．